

公明党春日部市議団 様

2025年度春日部市予算編成並びに
施策に関する要望書

回 答 書



春日部市

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
I 重点要望				
1	春日部駅周辺連続立体交差事業に伴う駅周辺のまちづくりの推進	連続立体交差推進事業	「春日部市中心市街地まちづくり計画」に示した各取組の具体化、実施に向け、公民学が一体となって中心市街地のまちづくりに取り組んでまいります。	1,095,112
2	学校給食費無料化	学校給食費管理事務	子育て支援として、3人目以降の学校給食費を全額助成し、多子世帯の経済的な負担を軽減することにより、子育て環境のさらなる充実を図ってまいります。また、学校給食における物価高騰分を支援することにより、負担を保護者に転嫁することなく、安心安全な美味しい給食を安定的に提供してまいります。	113,659
3	避難所にもなる学校体育館のエアコン設置の早期完成	小学校避難所環境整備事業	避難所に指定されている小学校の体育館に空調設備を整備するもので、令和7年度に小学校13校の整備を行うことにより、市内の小、中、義務教育学校すべての整備が完了する予定です。	1,716,000
4	武里地域の再整備	官民連携まちづくり推進事業	引き続き、春日部市リノベーションまちづくり構想に基づき、取り組んでまいります。	8,809
5	北春日部駅西口周辺のまちづくり	北春日部駅周辺地区 土地地区画整理推進事業	北春日部駅周辺地区は、令和4年度に土地地区画整理組合が設立され、令和6年度は工事着手されました。本市におきましても、事業推進に向け、組合と情報を共有しながら、連携してまいります。	9,048
6	豊野工業団地（赤沼・銚子口産業基盤整備事業）の拡張と企業誘致	企業誘致推進事業	国の東埼玉道路整備や県企業局の工業団地整備の事業と連携・調整を図りながら、埼玉県東部地域として経済の活性化が図られるよう、方向性を検討してまいります。	16,919
		赤沼・銚子口地区 産業基盤整備事業	赤沼・銚子口地区においては、県と共同し、豊野工業団地の拡張として新たな産業団地整備に向けて取組みを進めています。地権者を含め、近隣住民の皆様に対しては、個別訪問や説明会等を継続的に実施し、ご理解、ご協力をいただきながら事業を推進してまいります。	8,166
7	看護学校の早期建替	—	関係部署と協議、情報交換を行いながら様々な可能性について検討していきたいと考えております。	—
8	公共交通手段の拡充	コミュニティバス運行事業	第四次春バス運行計画では、人口が少なく、交通需要の少ない地域においては、コミュニティバスの運行が難しいため、タクシーの活用をはじめとした新たな交通手段を検討していくこととしています。 令和6年1月からは、庄和地域の交通空白地に住む高齢者等を対象に、タクシー補助制度の実証実験を行っています。実証実験の結果を検証するとともに、地域の方々のご意見やご協力もいただきながら、地域公共交通活性化協議会及び庁内においても協議を行い、より良い施策の検討を行ってまいります。	65,924
9	スポーツ施設の整備促進	体育施設運営事業	体育施設の今後の整備については、スポーツ施設マネジメント計画及び総合体育施設整備基本計画に基づき、関係機関等との協議やその他事務手続きなどを進めていきます。	1,735,218
10	冠水・浸水対策	①治水対策事業 ②公共下水道事業（雨水） ③河川施設長寿命化修繕事業	100mm/h安心プランを計画期間となる令和7年度までに進めてまいります。 春日部駅西口周辺の浸水被害の軽減を図るため、会之堀川第1幹線の整備工事を進めてまいります。 その他の地域についても、地域の特徴を踏まえて、貯留施設やポンプ等の整備効果を十分に検証し、浸水対策に取り組んでまいります。 安定的な排水機能を発揮するため、市内ポンプ場の耐震化工事や排水施設の更新工事を進めてまいります。	①57,200 ②448,719 ③953,799

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
11	行政のDXの推進	デジタル推進事業	令和5年3月策定の春日部市デジタル・トランスフォーメーション推進計画に示されている内容を基に、D Xの推進に取り組んでまいります。	10,495
12	健康増進策の充実	健康づくり推進事業	「埼玉県コバトン健康マイレージ」に代わり、令和6年度から新歩数アプリ「コバトンALKOOマイレージ」に参加しています。また、ふれあいウォーキングではウォーキングを通した地域のつながり作りの場としてリハビリスタッフなど医療・介護の専門職がウォーキング前の準備体操や歩き方のアドバイスなどを実施しています。今後もウォーキングを促進する事業をすすめてまいります。	6,742
13	市民も利用できる通年型学校プールの早期実現	小学校温水プール整備事業	既存学校プールを各校で共同利用できる温水プールに改修し、学校プールの効率的利用を推進してまいります。また、学校教育に支障のない範囲で、市民利用の検討を進めてまいります。予算に関しては、令和6年度の繰越事業となります。	—
14	自転車用ヘルメット購入費の補助制度の導入	—	県内市の補助制度利用状況、市内の自転車利用状況を踏まえ、購入補助の必要性を見極めてまいります。	—
15	加齢性難聴者支援として補聴器購入費の補助制度の導入	高齢者在宅福祉サービス事業	聴力機能の低下により日常生活等に支障を来している高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用の一部を補助することにより、積極的な社会参加を支援するとともに認知症予防の一助とするため、購入費に対する補助を新たに実施いたします。	920
16	E R診療の推進など市立医療センターの充実	病院運営事業	E R診療については、全体的に救急専門医が少ない状況もあり、難しい課題ではありますが、引き続き救急専門医の確保に努め、医療提供体制の充実を図ってまいります。	—

II 分野別要望事項

1 子育て支援策の強化充実を求めます。

①	児童虐待防止対策のさらなる拡充	こども家庭センター相談事業	こども家庭センターが中心となり、児童相談所や警察、保育所、学校、医療機関などの関係機関と連携を密にし、虐待の恐れがあるこどもや家庭の情報を共有しながら、児童虐待の未然防止に努めてまいります。	6,452
②	0才児から3才児未満の通年に亘る待機児童を「ゼロ」に	①保育所運営委託事業 ②施設型・地域型保育給付事業 ③子育てのための施設等利用給付負担金	私立幼稚園の認定こども園への移行支援や小規模保育施設の併設の提案、また既存保育施設においては、定員の弾力運用を取り入れるなど、待機児童の解消に取り組んでおります。また、保育コンシェルジュによる相談、必要な情報の提供及び入所に向けたアドバイスなど、保育希望者へのきめ細かな対応を行い、待機児童の解消に努めてまいります。	①2,320,919 ②1,802,966 ③546,751
③	誰でも通園制度の導入	—	国においてモデル事業の検証とともに、詳細な制度設計が段階的に示されているため、引き続き国の動向を注視するとともに、市民ニーズや必要な情報の収集に努め、関係機関と意見交換を行いながら、令和8年度の本格実施に向けて検討を進めてまいります。	—
④	地区別児童館の設置	—	新たな施設を整備するのではなく、国が定める児童館ガイドラインに示されている、地域の健全育成の環境づくりの一つである「出張児童館」の検討を行っております。既存の公共施設などの有効活用を図りながら、児童館職員が児童館のない地域へ出向き、地域のこどもたちに、児童館で行う遊びや文化的活動等の体験機会を提供してまいります。	—

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		⑤	出産祝い品として地域商品券の導入	—	出産祝いとしての地域商品券の導入につきましては、必要性も含め、研究してまいります。	—
		⑥	キッズゾーン導入	保育総務事務	こどもたちの安全を確保するため、令和3年度から、保育施設周辺に看板の設置を進めております。今後も関係部署と設置箇所等について協議を行い、順次導入してまいります。	10,434
		⑦	放課後児童クラブの整備拡充と支援員の配置支援	放課後児童健全育成事業	施設の整備については、教育委員会や学校との連携・協議を進め、児童数の動向や推移などの保育ニーズを勘案し、既存施設の有効活用を第一に考えて検討してまいります。 また、支援員の配置につきましては、入室児童数やクラブの状況を踏まえ、適正な配置に努めてまいります。	572,701
		⑧	父子健康手帳の更新	こども家庭センター母子保健事業	妊娠届出時に発行している父子健康手帳につきましては、国が定める事項も含め、毎年内容を精査し更新しております。	32,891
		⑨	公立保育所の統廃合を含めた老朽化対策の検討	—	公立保育所の建て替え等につきましては、春日部市公共施設マネジメント基本計画に定める方針に基づき、検討を進めてまいります。	—
		⑩	パパ友をつくるコミュニティの充実	児童館運営事業	児童センターにおいて、定期的にパパを対象とした事業を実施しており、パパ同士の交流を図るものとなっております。 今後も指定管理者と協力のうえ、児童館が、パパを含む保護者同士のコミュニティの充実が図られる場となるよう努めてまいります。	291,523
	2 障がい児・者施策の充実を求めます。					
		①	重度障がい児・者へのショートステイ事業の推進	—	市内には、現在10か所の短期入所（ショートステイ）施設が整備されており、重度の障がいがある方の受け入れにつきましても、可能な限りの受け入れをお願いしております。 市内での対応が難しいケースにつきましては、各ケースワーカーが市内の相談支援事業所等と連携し、受け入れが可能な施設への入所を調整しているところでございます。 今後におきましても、グループホーム等の障害福祉施設整備の相談があった場合には、短期入所（ショートステイ）施設の併設などを働きかけてまいります。	—
		②	就労支援の拡充	障害者就労支援センター運営事業	障がい者の就労機会の拡大を図るため、障がい者及びその家族の意向に応じて就労相談、就職準備、職場開拓、職場実習、職場定着を支援する障害者就労支援センターを運営するものです。 春日部市障害者就労支援センターでは、ハローワークなど関係機関との連携を図るとともに、事業所からの相談にも応じています。 運営の充実を図るため、令和4年度からは常勤の相談員を1名配置から2名配置とし、さらなる相談支援等の充実に努めております。	10,506

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		③	障がい者配慮・手話言語・情報・コミュニケーション条例の制定	—	手話を身近なものと感じていただけるように手話講習会を開催しているとともに、「広報かすかべ」を活用して、手話は言語であることを周知するなど、手話の普及啓発に努めています。 今後も手話への関心を高め、手話を知りたい、学びたいといった機運を醸成していくための方策について、関係団体と議論を深めていきたいと考えております。	—
		④	児童発達支援サービスの拡充	ふじ学園運営事業	多様な障がいのある児童に対し、日常生活に必要な知識・技能を習得させるため、児童の性質及び能力に応じた生活指導を行う「ふじ学園」を指定管理者により管理運営するものです。 児童発達支援センターふじ学園の移転に伴い、令和3年度から定員が60人に倍増となり、医療的ケア児を含む身体障がいのある児童にも対応可能な施設となりました。加えて、理学療法や作業療法などの専門療育や相談支援を新たに実施し、本市の中核的な療育支援施設としての機能の一層の充実を図ってまいります。	217,548
		⑤	リサイクル支援センターの支援強化	—	心身障害者通所支援施設「リサイクルショップ」につきましては、障害者総合支援法で定める「就労継続支援B型事業所」として、利用者の工賃向上など、事業の充実を図ってまいります。	—
		⑥	視覚障がい者支援として家族への配慮講習	—	視覚障害に対する専門的な知識と技術、経験を有し、視覚障害に特化したNPO法人などの支援団体や関係機関と連携を図ってまいります。	—
		⑦	共生型サービス（重層型支援）の推進	—	共生型サービスは、高齢の方も障がいのある方も同じ事業所でサービスを受けやすくするために2018年に創設されました。本市においても多くの事業所に登録をいただいており、障がいのある方のヘルパー派遣を介護保険事業所をお願いしているところです。今後も、新規開設事業所からの相談を受けた際には、積極的に啓発してまいります。	—
		⑧	各地区1箇所以上のユニバーサルシートの設置	—	社会に存在するバリアを取り除き、誰もが快適かつ安心して利用できる生活環境を目指し、ユニバーサルシート設置への啓発を図ってまいります。	—
		⑨	基幹相談支援センターの設立	基幹相談支援センター運営事業	地域における障がい者の相談支援においては中核的な役割を担うとともに相談支援に関する業務を総合的に行う機関であり、第7期障害福祉計画においても設置目標をしております。関係機関と協議を重ね、早急に設置に向けてまいります。	20,527
	3	高齢者施策の充実を求めます。				
		①	地域包括支援センターの人員の拡充	地域包括支援センター運営事業	地域包括支援センターの設置等については、国の基準をもとに整備し、充実に努めてまいります。	228,050
		②	高齢者ドライバーの運転免許返納制度の支援充実	—	埼玉県警が平成20年度から運転免許自主返納制度を実施しており、自主的に運転免許証を返納した場合、特典を受けられる事業所の協賛を求めています。市としても制度の周知や協力事業者への働きかけを行ってまいります。	—
		③	デジタル支援員の配置とスマホ教室の開催	デジタル推進事業	パソコンやスマートフォンに不慣れな方への支援は、各事業の担当課が責任を持って丁寧に応じるのはもちろんのこと、主に高齢の方で、スマートフォンに不慣れな方向けの講座を充実させてまいります。今後の国の「デジタル格差」解消に向けた動向も注視しながら、きめ細やかな支援を行ってまいります。	10495 再掲

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		④	携帯版緊急通報システムの導入	—	令和4年度に県内他市の携帯型の導入状況を調べたところ、県内40市中で導入している市は8市と少ないため、高齢者にとっての需要は多くなく、操作が難しい等の課題もございますので、導入は考えていないところです。今後は設置場所、充電、操作方法などの課題が少ない機器の他市での導入状況を注視し、引き続き、利用者にとって、より利便性の高い事業となるよう研究を重ねてまいります。	—
		⑤	介護予防事業の充実	介護予防普及啓発事業 住民主体型介護予防事業 地域リハビリテーション 活動支援事業	健康脳トレ塾や講演会の開催により、介護予防の普及啓発を進めるとともに、専門職の派遣や補助金の交付により住民主体の取り組みを支援することで介護予防事業の充実を図ってまいります。	2,526 1,176 2,594
		⑥	認知症ケア体制の充実	認知症総合支援事業 認知症サポーター等養成 事業	認知症サポーター養成講座の開催により認知症への正しい理解の普及を図ると共に、認知症疾患医療センターや地域包括支援センター、地域の関係団体等と連携を図り、認知症の方や家族への相談支援及びチームオレンジの立ち上げによる共生の地域づくり等、「新しい認知症観」に基づく認知症施策を推進してまいります。	13,827 379
		⑦	補聴器購入費の補助制度の導入（再）	高齢者在宅福祉サービス 事業	聴力機能の低下により日常生活等に支障を来している高齢者に対し、補聴器の購入に要する費用の一部を補助することにより、積極的な社会参加を支援するとともに認知症予防の一助とするため、購入費に対する補助を新たに実施いたします。	920 再掲
		⑧	難聴予防の早期発見と早期介入	—	難聴は生活や社会参加の範囲を狭めるなど高齢期の生活に及ぼす影響が大きいため、社会全体で難聴への理解を深め、早期発見等の重要性についての普及啓発の重要性は認識しております。	—
		⑨	eスポーツによる三世代交流の実現	—	埼玉県の出組や導入している自治体の情報を収集し、いきいきクラブ連合会やeスポーツになじみのある若い世代の方々からの意見もいただきながら、高齢者を対象としたeスポーツの普及について研究してまいります。	—
	4 防災対策の拡充を求めます。					
		①	防災会議及び災害対策本部に女性委員の更なる拡充	—	女性委員の比率向上に向けて、委員の推薦にあたり関係機関に対し働きかけてまいります。	—
		②	100mm安心プランの恩恵が少ない地域の浸水冠水対策の強化	①治水対策事業 ②河川施設維持管理事業	地域の特徴を踏まえて、貯留施設やポンプ等の整備効果を十分に検証し、浸水対策に取り組むとともに、水路の流れを確保するために浚渫や除草などを適宜実施してまいります。	①57,200 再掲 ②622,439
		③	内水対策として貯留施設の増設・排水ポンプ設備の増強	①公共下水道事業（雨水） ②治水対策事業	雨水貯留施設については、令和6年度、谷原第1公園内において、貯留施設の整備を実施しております。その他の地域についても、地域の特徴を踏まえて、貯留施設やポンプ等の整備効果を十分に検証し、浸水対策に取り組んでまいります。	①448,719 再掲 ②57,200 再掲
		④	雨水下水道の整備促進	公共下水道事業（雨水）	春日部駅西口周辺の浸水被害の軽減を図るため、会之堀川第1幹線の整備工事を進めてまいります。	448,719 再掲

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		⑤	災害ハザードマップのアプリ化	防災体制強化事業	市では、令和2年度に災害ハザードマップが完成し、全世帯に配布するとともに市ホームページに掲載しています。令和3年度からは、このハザードマップと、Yahoo!との災害協定により提供されたYahoo!防災アプリを活用して、マイ・タイムライン作成など各自が災害に備えるための支援・啓発などを行っています。 今後も、災害リスクを周知し、市民の皆様が災害に対し日ごろから備えられるよう、様々なツールに関する情報収集と導入の検討をまいります。	21,051
		⑥	女性防災リーダーの育成	防災体制強化事業	女性の視点から防災を考える取り組みとして、女性防災士による視点を生かした災害時の対応を学ぶ講義や、女性防災士の積極的な養成を進めております。現在は、女性の訓練参加者や防災士取得者が着実に増え、地域の防災リーダーとして活躍されております。 今後もこうした活動を継続し、女性防災リーダーの育成に努めてまいります。	21,051 再掲
		⑦	トイレカー・トイレトレーラーの導入	防災体制強化事業	トイレトレーラーは、移動に際してけん引免許が必要であることや、車体の大きさから、災害時の移送、継続的な維持管理などの課題もあります。 そのため、けん引免許が不要なトイレカーの導入について、令和7年度に、同度末まで財源として活用できる「緊急防災・減災事業債」を活用し、トイレカーの導入を進めたいと考え、予算要求しています。	21,051 再掲
		⑧	避難所の電源確保とwi-fi設備の拡充	—	避難所の電源確保については、全ての避難所に、発電機を配置して、最低限の電源を確保しています。 Wi-Fiの整備活用については、公民館施設においては、既に設置されているWi-Fi環境を災害時にも利用することが出来ます。	—
		⑨	幹線道路の無電柱化の推進	—	道路法第37条に基づく新設電柱の占用制限措置の導入について、関係各所と調整を図ってまいります。	—
		⑩	防災公園設置	都市公園等整備事業	旧庁舎解体後の跡地に新たに設置する、（新）中央町第1公園を災害時対応公園として計画しております。	19,737
		⑪	移動ポンプ車の導入	—	移動ポンプ車の導入については、他市の動向を調査研究し、判断してまいります。 大規模自然災害時、当市に甚大な被害が発生した場合は、埼玉県を通じて自衛隊や国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」などの派遣を要請することとなります。これらの派遣隊において、移動ポンプ車についても派遣がなされるものと考えております。大規模災害から迅速な復旧、復興が図られるよう、今後も関係機関と連携し、災害対策に努めてまいります。	—
		⑫	消防職員・女性消防吏員の増員と安全対策の強化	常備消防事務	消防職員の増員については、効率の良い職員配置に配慮していくとともに、人事部局と協議することで、計画的な職員確保に努めてまいります。また、女性消防吏員の活躍を推進することにより、採用試験の女性受験者の増加に繋がるよう取り組んでまいります。 安全対策については、計画的に消防学校等の研修に職員を派遣し、専門的な知識や技術を職員間で共有することにより強化を図ってまいります。	96,872

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
	⑬	上下水道の耐震化		総合地震対策（下水道）	引き続き、大規模な地震により液状化の可能性がある区域のうち、緊急輸送道路下にある下水道管のマンホール浮上防止対策などの地震対策を実施してまいります。	454,958
				配水管耐震化事業	病院や避難所等の重要給水施設へ供給する配水管や住宅街の老朽管等を優先的に、耐震化(管の更新)を進めてまいります。	1,047,000
				浄水場施設改良事業	平成29年度までに市内5浄水場の建屋など29施設の耐震化が完了しており、非耐震の配水池など5施設については、今年度から取り組んでいる経営戦略の改定において、必要性や重要度並びに優先度を勘案し計画的な耐震化を進めてまいります。	—
	⑭	地域防災力強化の為に市民センターとの防災連携強化		防災体制強化事業	市民センターが実施する防災訓練の参考となるよう、危機管理防災課において市民センター向けの避難所開設訓練マニュアルを作成し、情報提供を行いました。 今後も地域の防災拠点となっている市民センターが実施する防災訓練のサポートや連携強化に努めてまいります。	21,051 再掲
	5 安心して暮らせる街作りを求めます。					
	①	ボランティア・健康等のポイント制度の導入		健康づくり推進事業	「埼玉県コバトン健康マイレージ」に代わり、令和6年度から新歩数アプリ「コバトンALKOOマイレージ」に参加しています。歩数に応じて、マイレージポイントが貯まり、ポイントに応じて自動抽選で賞品が当たるものです。そのほか、市独自でイベントを実施します。月平均歩数が、一定歩数以上になった市民に賞品が自動抽選で当たるイベントと市民が対象の健（検）診や健康に関する講座や教室などへの参加、自身の健康づくりにチャレンジをしてスタンプを集めると抽選で賞品が当たるイベントです。	6,742 再掲
				介護支援ボランティアポイント事業	高齢者が介護保険施設等でボランティア活動を行うことで、社会参加や地域貢献をととして自身の健康増進や介護予防につながり、いつまでもいきいきとした生活が送れるよう支援することを目的として、ボランティアポイント制度を実施しています。引き続き、制度の周知を図り、ボランティア活動への参加促進を図ってまいります。	3,433
	②	特殊車両を用いた路面下空洞化調査の継続実施		—	令和6年度に緊急輸送道路などの路面下空洞調査を実施いたしました。今後も定期的に調査を継続実施してまいります。	—
	③	火災・災害基金条例の制定		—	被災者支援のための資金援助は、災害救助法等の規定で都道府県が対応することとしています。 特に埼玉県の災害基金条例は、他県と比べ対象の範囲が広がっています。 今後、国や県の動向を注視していきます。	—
	④	防犯カメラの増設（公共施設・公園・通学路など）		防犯暴力対策事業	街頭防犯カメラについては、令和9年度までに市内の小学校及び義務教育学校23校の通学路に各校1台ずつ合計23台増設してまいります。	21,246
	⑤	防犯灯・街路灯・カーブミラーの設置基準の見直しと拡充		①交通安全施設設置・管理事業 ②街路灯設置・管理事業	街路灯・カーブミラーは設置基準に基づき、現地調査をしたうえで判断しております。なお、街路灯の設置基準については、令和5年5月に見直しを図りました。また、防犯灯については、一戸一灯運動を呼びかけ、自主防犯の啓発に取り組みます。	①27,430 ②114,235

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		⑥	熱中症対策の強化	健康づくり推進事業	平時より熱中症の予防対策を周知啓発するとともに、環境省等が発表している暑さ指数や、熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートにより、熱中症の危険が高まることが予測される時は、予防行動がとれるよう注意情報を発信してまいります。また、熱中症予防施設として「まちのクールオアシス」「クーリングシェルター」を設置、周知を図ってまいります。	6,742 再掲
		⑦	歩道の安全対策の強化	交通安全施設設置・管理事業	道路管理者と協議の上、必要な箇所へ注意看板等の設置してまいります。	27,430 再掲
				①通学路安全対策・バリアフリー化事業 ②道路整備事業	通学路として指定されている路線や交通量の多い路線で安全対策が必要な箇所については、歩道の幅員を確保するために水路のふた掛けを行っております。また、既存の道路幅員の範囲内において、運転者へ視覚的に注意喚起を促すためのラインの塗布や、ラバーボールの設置を実施するなど、歩行空間の確保に努めてまいります。	①41,580 ②85,752
		⑧	青色回転灯車の増車	防犯暴力対策事業	青色回転灯車の増車については非常に重要と認識していますが、まずは、職員による青色回転灯車防犯パトロール活動を活発にし、既存の青色回転灯車を有効活用してまいります。	21,246 再掲
		⑨	バリアフリー対策強化	通学路安全対策・バリアフリー化事業	春日部駅周辺の道路を中心としたバリアフリー化を引き続き進めてまいります。	41,580 再掲
		⑩	ドクターカーの導入	—	ドクターカーの導入につきましては、搭乗する医師や看護師の確保をはじめとした、医療関係との協力が不可欠であり、消防本部としての導入には課題が多いと考えます。今後は、国や県での導入状況等を注視して見極めてまいります。	—
		⑪	猛暑対策として屋根付き公園の設置	都市公園等整備事業	夏の炎天下における直射日光を避ける日陰の創出などが望まれることから、屋根を有するあずまやなどの休憩施設に限らず、日陰のもとで、子ども達が安心安全に公園を利用できる屋根付き広場の設置も検討してまいります。	19,737 再掲
	6 健康増進策の強化・充実を求めます。					
		①	オンライン診療の体制強化	—	オンライン診療の体制強化に向けた医療機関への支援や情報提供は、県において取り組んでいることから、今後の動向を注視していきます。	—
		②	人間ドックと脳ドック検診の助成制度の実施	特定健康診査等事業	特定健康診査では、市独自の検査項目を追加して実施しており、各種がん検診と同時受診により人間ドック相当の内容となっております。	206,022
		③	特定基本検診の土日祝日夜間検診の拡充	特定健康診査等事業	特定健康診査の実施体制については、委託先である春日部市医師会と協議の上決定しており、医療機関の受入体制が可能な曜日や時間帯で、夜間の健診を行っている医療機関もあると伺っております。	206,022 再掲
		④	電子版母（父）子健康手帳の導入	こども家庭センター母子保健事業	電子母子健康手帳は、紙の母子健康手帳を補完するものとして、有用であると認識しており、電子母子手帳アプリを導入することで、乳幼児健康診査における問診票の電子化や、各種教室の申込みや伴走型支援におけるアンケートの回答の電子化が可能となります。 国において乳幼児健康診査の拡充を予定しており、実施にあたっては、既存の健康カルテシステムの改修が必須となることから、現在、連携が必要となる健康カルテシステムの改修を行っています。システムの改修後、電子母子健康手帳アプリの導入について検討してまいります。	32,891 再掲
		⑤	フレイル事業の拡充	フレイルチェック事業	フレイルの気づきを促すことを目的に、市民ボランティアであるフレイルサポーターによるフレイルチェック測定会等を実施しています。令和6年度から引き続き、市内全域での事業の拡大に努めてまいります。	8,413

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		⑥	新型コロナワクチン接種の助成	予防接種委託事業	新型コロナウイルス感染症は、令和6年度より予防接種法のB類疾病に位置づけられ、主に65歳以上の高齢者を対象とし、定期予防接種となりました。令和6年度は、国からのワクチン見込額の差額分8,300円の補助があり、春日部市での新型コロナワクチン接種の自己負担額を3,000円としました。令和7年度の補助金の有無については未定ですが、今後も国からの補助金についての情報や、近隣市町の自己負担額を参考にしながら、適正な自己負担額を決定してまいります。	802,472
		⑦	がん対策の推進	がん検診推進事業	がん検診の受診率向上のため、特定の年齢の者に対して、受診勧奨通知を送付するとともに、精密検査未受診者に対しては、受診勧奨などにより医療機関への受診を促すなど、がんによる死亡率の減少に向け取り組んでまいります。	10,071
		⑧	糖尿病重症化予防策を図ること	健康づくり推進事業	糖尿病予防対策としては、糖尿病をはじめとする生活習慣病を防ぐことが重要であるため、生活習慣病予防教室、生活習慣病の予防や改善につながるウォーキングに関する事業、健康相談などの生活習慣病予防対策事業を実施してまいります。	6,742 再掲
				糖尿病性腎症重症化予防事業	国保加入者に対しては、埼玉県国民健康保険団体連合会と共同事業として、未受診者及び治療中断者への受診勧奨、通院患者への保健指導、保健指導実施後の継続支援を行っています。	9,684
		⑨	プレコンセプションケアの推進	こども家庭センター母子保健事業	こども家庭センターに常駐する助産師や家庭児童相談員が、「妊娠」、「出産」、「妊娠前から気をつけたい健康管理」など、思春期からの男女の性や健康に関する正しい知識を身につける相談に応じております。	32,891 再掲
	7 教育・環境施策の拡充を求めます。					
		①	統合型校務支援システムの早期導入	学校教育支援事業	働き方改革を推進するために、学校のデジタル化・クラウド化を図り、情報共有を可能とする統合型校務支援システムの令和7年度中の導入に向けて取組を進めてまいります。	343,404
		②	公共施設にミストシャワーの設置	—	ミストシャワーは、夏の暑さを緩和する有効な方法の一つであると認識しております。「まちなかひろば」での夏の暑い日のイベント時では、参加者の暑さ対策にもなることから、ミストシャワーの設置について検討してまいります。	—
		③	学校図書館に学校司書の常駐配置	①小学校図書館整備事業 ②中学校図書館整備事業	平成26年度から小学校に学校図書館支援員（学校司書）を6名配置しております。また、平成29年度からは中学校及び義務教育学校（後期課程）に社会教育部の司書職員が訪問するとともに、小学校に配置している学校図書館支援員を支援しております。 引き続き、学校図書館支援員として必要な知識の取得や、支援員間の情報共有を図るとともに、適正な配置に努めてまいります。	①11,283 ② —
		④	学校支援員の全校配置	スクール・サポート・スタッフ配置事業	一般財源を活用して、市内全34校へのスクールサポートスタッフを配置することを検討してまいります。	24,485

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		⑤	チーム学校の充実とスクールカウンセラーの小学校配置	教育相談センター運営事業	学校のマネジメントを強化し、組織として教育活動に取り組む体制をさらに強化するとともに、必要な指導体制の整備の充実に努めてまいります。 スクールカウンセラーの配置につきましては、県と連携しながら適切な配置を要望し、今年度は小学校各校へ年間11回の勤務をしています。また市としましては、臨床心理士・学校心理士・スクールソーシャルワーカーなどで組織しております「こころのサポートチーム」による学校訪問、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問にて相談にあたっております。	11,591
		⑥	スクールソーシャルワーカーの増員	こころのサポート推進事業	令和6年度も、教育相談センターに県費によるスクール・ソーシャル・ワーカーを2名配置し、昨年度同様、のべ1500時間勤務をしています。今後も、配置の拡充のために県に要望してまいります。	3,033
		⑦	小学校のALT等の体制整備と充実	英語指導助手招致事業	外国語を用いたコミュニケーションができ、グローバルに活躍する人材の育成を目指して、基礎的・実践的コミュニケーション能力の育成を重視した授業展開ができるよう、日本の小学校英語教育に理解のあるALTの体制整備の充実に努めてまいります。	63,797
		⑧	地域の人材を活用した春日部版部活動の充実	—	現在、市内の中・義務教育学校の部活動において、部活動指導員や外部指導者、ボランティアとして地域の人材を活用し、こどもたちの活動を充実させています。今後は、部活動のあり方について、関係各課と連携し、検討会等を行ってまいります。	—
		⑨	GIGAスクールの充実	—	情報教育推進のための研修の充実に努めてまいります。	—
		⑩	ヤングケアラー支援の推進	—	令和5年3月に策定のかすかべっ子幸せ応援プラン（子どもの貧困対策推進計画）において、ヤングケアラーへの支援の方向性を掲げております。ヤングケアラー自身が当事者であることに気づくこと、関係機関や周囲の大人がヤングケアラーの認識を深めることが重要であることから、ヤングケアラーの理解と啓発を広く実施していくとともに、課題を抱える家庭に関わる機関との連携を図り、具体的な支援事業へつなげる仕組みを創設してまいります。 ヤングケアラー啓発と関係機関の連携については、庁内10課にて進めており、担当課ごとに、ホームページや広報かすかべで当事者への気づきを促すための啓発を行っております。また、支援策としては、ヤングケアラーがいる家庭を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、食事の準備や洗濯、掃除などを行う家事支援や、育児のサポート、宿題の見守りなどの育児支援を行う子育て世帯訪問支援事業を本年度より開始しております。引き続き、ホームページや広報かすかべなどにより、ヤングケアラーの啓発・支援策の周知を行ってまいります。 なお、取組状況について、毎年度、こども・子育て支援審議会に報告し、評価を受け、次年度に生かしていくこととしております。	—
				子育て世帯訪問支援事業	支援策としては、ヤングケアラーがいる家庭を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、食事の準備や洗濯、掃除などを行う家事支援や、育児のサポートや宿題の見守りなどの育児支援を行う子育て世帯訪問支援事業を令和6年12月から開始しております。	1,955

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		⑪	学校トイレなど公共施設に生理用品の配置	—	「生理の貧困」を抱える方などへの適切な配布方法について、検討を進めます。	—
				—	各学校では、生理用品を適切に保管し、必要に応じて児童生徒に配布をしています。また、トレイに生理用品を置き、必要な時に使えるようにしている学校もあります。今後も、衛生面、指導面等を配慮し、研究してまいります。	—
		⑫	EV自動車の導入拡充	公用車管理事業	公用車エコ化プロジェクトを平成30年度に立ち上げ、環境負荷の少ない車両への転換を進めており、特種車両などを除いた車両を対象として公用車の総量を削減していくこと、更新の際は費用の平準化や管理事務の軽減の観点からリース方式とし、原則としてハイブリッド車以上の次世代自動車とすること、さらにこのうち約2割をEV自動車とすることを目標としています。 また、EV自動車の円滑な運用のため、各施設の新設、建て替え、大規模改修の際には、普通充電設備を確保していく方針としています。	45,418
		⑬	命の教育の推進	—	令和6年度は、医師を講師とし、実践授業を実施しております。今後も、児童生徒はもちろん、保護者や地域の方への啓発を含め、生命の安全教育を推進してまいります。	—
		⑭	食品ロスの削減	環境美化推進事業	春日部市一般廃棄物処理基本計画に基づき、食品ロスの削減イベントや生ごみ堆肥作り講習会、エコ・クッキング（料理教室）などを実施するとともに、「春日部市食品ロス削減行動指針」に基づき、食品ロス削減に向けた取組を推進してまいります。	9,763
		⑮	ゼロカーボン社会の取組強化	地域脱炭素移行・再エネ推進事業	国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用し、公共施設、個人住宅、事業場への太陽光発電設備の導入等、地域脱炭素の取組を進めていきます。	195,374
		⑯	児童書読み放題パックの導入	図書館運営事業	複数人が同時に利用できる電子書籍の「児童書読み放題パック」については、図書館の指定管理者と協議をし、令和7年度から「かすかべ電子図書館」に導入していきます。	-
		⑰	校内教育支援センターの設置	—	各学校の不登校の状況や、設置可能な余裕教室等の数を勘案し、数校をモデル校的に設定する、取組から始められるよう、努めてまいります。	—
		⑱	がん教育の実施	—	学校の教育計画に基づく保健の教科書を主たる教材としながら、文部科学省が作成した教材を活用するなどして授業を確実に実施し、児童生徒が適切な行動を実践できる力を身につけられるよう、努めてまいります。	—
		⑲	奨学金返還支援制度の導入	入学準備金・奨学金貸付事業	本市の奨学金貸付制度は、貸付を受けた方からの返済金を原資として運用していることから、奨学金返還支援制度を実施するためには運用財源を新たに確保する必要があります。 奨学金返還支援制度については、実施している他自治体の状況等を引き続き研究していきたいと考えております。	7,040
		⑳	SDGsのさらなる普及啓発・推進	SDGs推進事業	SDGsの達成に向けて取り組んでいる又は関心を持っている企業・団体により構成される「かすかべSDGsパートナーズ」の会員相互の連携促進や、市民へのSDGs浸透を促進する事業の実施、またSDGsに積極的に取り組んでいる近隣自治体との広域連携などにより、持続可能なまちづくりを推進してまいります。	665

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.	要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
8	市民サービスの向上を求めます。			
①	内谷陸橋付近にエレベーターを設置して回遊性のある街に	—	現在、春日部駅付近連続立体交差事業が進められております。内谷陸橋付近のエレベーター設置については、事業効果や春日部駅付近連続立体交差事業の進捗などを勘案し、必要性について検討してまいります。	—
②	公園リニューアル事業の予算拡充（対象公園数の増設）	子育てふれあい公園リニューアル事業	公園施設の再編や長寿命化などの事業とバランスを図りながら、公園リニューアル事業を実施してまいります。	35,177
③	一ノ割駅舎の橋上化及び周辺整備の推進	交通拠点整備事業	駅周辺のまちづくりは、地権者、地域住民及び鉄道事業者などのご理解ご協力が必要になります。その整備に対する課題について関係者の方々と共通認識を図るとともに他事業の進捗状況や駅周辺の社会環境の変化を見極めながら検討をしていきます。	318
④	市内のコンビニ等・24時間利用可能なAEDの更なる拡充	保健衛生総務事務	心肺停止による突然死から市民の尊い命を救うため、市内の公共施設やセブンイレブンなど174台のAEDを設置しています。	17,725
⑤	春日部市民文化会館のバリアフリー化の推進	市民文化会館運営事業	令和6年度の非構造部材（特定天井）等耐震対策工事では、バリアフリー化に対応したエレベータの更新及び多目的トイレの改修を実施しました。 今後も引き続き優先順位を見極めつつ、バリアフリーの視点を取り入れながら必要な修繕を行い、利用者の利便性向上に努めてまいります。	10,481
⑥	上下水道料金支払いのクレジット対応	—	現在、口座振替や金融機関などでの窓口納付をはじめ、コンビニエンスストアでの納付、スマートフォン決済など様々な支払い方法を導入しており、クレジット決済の導入は、手数料等の課題があると認識しております。このため、他自治体の導入状況や効果等さまざまな観点から研究し、その必要性について見極めてまいります。	—
⑦	ドッグランの設置	—	飼い主の方が愛犬と触れ合うことができる環境があることは、望ましいことですが、ドッグランの設置には、近隣にお住まいの方のご理解が欠かせないなどの課題があると考えています。 今後につきましては、公園を中心とした中で、適地及び設置を検討してまいります。	—
⑧	免許返納者へのサービス拡充	—	埼玉県警が平成20年度から運転免許自主返納制度を実施しており、自主的に運転免許証を返納した場合、特典を受けられる事業所の協賛を求めています。市としても制度の周知や協力事業者への働きかけを行ってまいります。	—
⑨	公民館の施設及び備品の定期的な点検と修繕	公民館運営事業	施設の維持管理に伴う修繕や改修、また備品等の買換えについては、予算の範囲で計画的に実施していきます。	401,095
⑩	期日前投票所の増設・移動型期日前投票所の開設	—	期日前投票所の増設については、現在の4カ所（市役所・庄和総合支所・ゆっく武里・イオンモール春日部）に加え、新たな期日前投票所の開設に向け、現在準備を進めております。 移動型期日前投票所については、二重投票の防止のため、安定した通信環境の確保が必要であることから、現状では難しいものと考えております。	—

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
		⑪	若年層の投票率向上対策	—	若年層への主権者教育として、市内学校に選挙制度の出前講座や選挙啓発ポスターコンクールの作品募集等を実施するほか、「二十歳を祝う会」では、選挙に関するパンフレットの配布を行っております。また、共栄大の大学生に協力をいただき、選挙に対する意識調査を実施するとともに、若年層への選挙啓発について学生と共に検討を進めているところです。 また、選挙時においては、高校生を対象に期日前投票所における投票事務の補助者を募集し、実際に従事してもらうなど、政治への関心や投票に対する意識を高める取り組みも実施しております。	—
		⑫	公共施設にユニバーサルシートの設置	—	ユニバーサルシートの必要性などにつきましては、公共施設開設や改築等の機会を捉えて、施設管理者へお伝えしてまいります。	—
		⑬	市民センターの活用	地区センター運営事業	地区センターとして、地域まちづくりの拠点として活用することで、「地域コミュニティの活性化」及び「市民の利便性向上」を図ってまいります。また、地域づくり推進会議において皆様のご意見を伺いながら、各地域の課題や実情に応じた地区センター機能の更なる拡充に努めてまいります。	15,262
		⑭	仮称・中央町第1公園整備	都市公園等整備事業	中心市街地に整備される新たな公園として若い人等が集い、出会いや交流が生まれる魅力ある公園整備を目指し、だれもが集える公園としてユニバーサルデザインを取り入れるなど安心安全な空間を創出してまいります。	19,737 再掲
		⑮	生活保護者の自立支援の強化	生活困窮者自立支援事業 生活保護事業	生活保護者が抱える課題が多様化している状況を把握するとともに、就労意欲の喚起を図りながら就労支援の一層の充実・強化に取り組んでいきます。 さらに、生活困窮の連鎖を断つため、こどもの学習支援、社会生活や日常生活能力の向上等の支援など、個々の被保護者の状況に合った自立支援の充実に向け推進してまいります。	60,257 6,739,618
		⑯	宅配ボックス設置補助	—	宅配ボックス設置については、再配達抑制につながり、ドライバーの労働時間の短縮やCO2排出の削減に効果があるものと認識しております。今後も国や県の動向や近隣自治体の状況などを注視し、必要な支援に努めてまいります。	—
	9 農業政策の充実を求めます。					
		①	援農チャレンジ制度と担い手育成塾との連携強化	①援農チャレンジ（農業ヘルパー）制度 ②新規就農総合支援事業	援農チャレンジ制度については、農家の方が求める求人ニーズの把握や制度周知に努め、農業ヘルパーへの登録と農作業の従事・体験の機会を促進していきます。 また、農業ヘルパー登録者も含め、新規に就農する意向のある方に対し、新規就農総合支援事業の活用など支援に努めていきます。	①— ②2,910
		②	農地バンク制度のさらなる充実	農地集積事業	令和6年度中に策定する地域計画に基づき、農地中間管理機構（農地バンク）の活用による農地の集積・集約化を進め、地域の中心経営体による営農の効率化を図ることにより、の遊休農地の解消や農地の有効活用を推進していきます。	14,182
		③	農道及び圃場整備のさらなる拡充	農地整備事業	埼玉型ほ場整備事業によるほ場の区画拡大とあわせて、農道の拡幅を推進していきます。	28,638
		④	スマート農業・観光農業の推進	—	春日部みどりのパーク共同事業体との連携を図るなど、常に新しい技術の把握に努め、本市に適したスマート農業を普及・推進していきます。 また、観光農園の魅力向上に向け、効果的な情報発信や産地の育成支援の取組を推進していきます。	—

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
10		⑤	農業用排水の浚渫	①用排水路整備事業 ②農地事務	地元からの要望を踏まえ、農作物への影響や緊急性などを考慮したうえで、優先順位をつけ、土地改良区と連携し浚渫を実施していきます。 また、水路の泥上げなどを行う地域活動に対し、多面的機能支払交付金を活用し支援していきます。	①6,673 ②59,845
		⑥	農産物直売所の増設	—	今後においても、農協や農業団体と連携を図り、農産物直売の場の創出など生産者と消費者とをつなぐ取組により、地産地消を推進してまいります。	—
	商業活性化・観光施策の充実を求めます。					
		①	プレミアム付き地域商品券を継続事業に	プレミアム付商品券発行事業	本年度は「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、プレミアム付商品券発行事業を実施しました。今後については、大きな財源を必要とすることから、市内経済の状況・国の動向等を見据えながら、実施について判断してまいります。	—
		②	企業版ふるさと納税の推進	企画事務	本市の地域再生計画に基づく取組について、市公式ホームページ等で情報発信を行っているほか、令和5年度から、企業とのマッチング支援について業務委託を行っております。企業版ふるさと納税制度については、国において3年間延長の方針が示されたことから、今後も、より一層の周知と活用を図ってまいります。	988
		③	地区別にイベント交流	①商工会議所補助金 ②商工会補助金 ③商店街活性化推進事業費補助金 ④産業祭実施事業費補助金	商店街、商工団体などが各地区において、主体的に催されるイベントに対し、支援をしております。	①30,384 ②6,615 ③15,924 ④1,475
		④	春日部ブランドの創設	特産品協議会補助金	本市には桐たんす、桐箱、押絵羽子板、麦わら帽子の特産品があり、各種イベント時に特設ブースを設置するなどPRを行っています。今後も、後継者の育成や市内外に向けて積極的にPRを行うなど、本市の誇れる特産品を支援してまいります。	1,071
				かすかべフードセレクション推進事業	市内観光スポットとして市場訴求力の高い「首都圏外郭放水路」を観光ブランディングの核に据えた情報戦略を推進していきます。 また、食の地域ブランドの確立に向けて、ホームページ・広報紙・認定品PRブック・ポスター等による情報発信や商業施設催事等への出店調整等を行い、かすかべフードセレクション認定品の魅力をPRしてまいります。	8,904
	水田収益力強化事業			春日部産米を活用した食の新たな地域ブランド創出に向けた実証実験に関する基本協定の締結団体と連携協力し、米粉専用品種である「亜細亜のかおり」と「笑みたわわ」の生産から加工、商品開発、販売までの仕組みの構築やPRコンテンツの作成により、ブランド化に取り組んでいきます。	2,790	
		⑤	春バスの観光資源化	観光振興事業	観光客向けのパンフレット「春日部クレヨンしんちゃんおでかけMAP」の中で、クレヨンしんちゃんラッピングバスを紹介するなど、観光資源として春バスをPRしております。今後も、他自治体の事例等の調査や関係課との調整等を行いながら、観光資源としての春バスの活用について検討してまいります。	28,934
				コミュニティバス運行事業	公共交通の利用促進や、本市のPR、商業の活性化等を図るため、引き続き、「クレヨンしんちゃん」のラッピングバスの運行を行ってまいります。また、バス車内においてしんちゃんの声で案内をする取り組みを行っています。	65,924 再掲

2025年度春日部市予算編成並びに施策に関する要望書（公明党）

No.			要望項目	事業名	事業概要・回答	令和7年度 当初予算 (単位：千円)
	⑥		デジタル地域通貨の導入	政策研究運営事業	デジタル技術の革新によるコストの削減や、国、県による新たな補助金の創設、また機運などデジタル地域通貨を取り巻く環境の変化に注視をしつつ、関係するステークホルダーの皆様と意見交換を重ねながら、市民の皆様が利用したいと魅力を感じる持続可能なデジタル地域通貨について、導入が可能か検討してまいります。	1,210
		⑦	観光資源の魅力向上施策の推進	観光振興事業	本市の多くの観光資源の魅力を向上させるには、来訪者の満足度を高め、再訪してもらえるような取り組みが必要と考えています。それぞれの観光資源を磨き上げるとともに、春日部ならではの価値のある観光体験のコンテンツの創出を推進してまいります。	28,934 再掲
	11		女性管理職の登用推進	—	令和2年度に、春日部市女性職員の活躍推進に関する特定事業主行動計画（後期計画）を策定し、本計画に基づき、女性職員が働きやすい職場づくりの推進に努めております。また、令和3年度に、男女幅広く多様な人材を管理職に登用するため、昇任制度について、試験を廃止し、人事評価等を活用した選考としました。今後も、個人の能力や適性に応じた人材育成に努めるとともに、女性管理職の登用にも配慮した適材適所の人事配置の推進、さらには、ワークライフバランスの推進等に取り組んでまいります。	—
	12		地域通貨事業などマイナンバーカードの活用	政策研究運営事業	地域通貨につきましては、マイナンバーカードの活用手法について情報収集を行いながら、「デジタル地域通貨の導入」の項目と同様に春日部市における持続可能な地域通貨の導入が可能か検討してまいります。	1,210 再掲
				—	他市の活用事例を参考に、マイナンバーカードの活用方法について調査・研究をしてまいります。	—
	14		東埼玉道路の早期完遂と周辺工業団地等との接続	街路整備事務 (東埼玉道路建設促進期成同盟会負担金)	現在整備が進められている東埼玉道路の更なる整備促進に向けて、今後についても、国会議員、沿線自治体や商工団体、自治会と連携を図りながら、1日も早い道路の開通を目指して、活動してまいります。	17,005
	15		(仮称) 銚子口橋の架設で藤塚橋やゆりのき橋の渋滞解消	—	銚子口橋については、豊野地区のまちづくりの動向や国の補助制度、越谷市の状況を注視しながら総合的に方向性を判断してまいります。 ユリノキ通りの渋滞は、朝夕の時間帯に、ゆりのき橋周辺で発生しており、橋に右折帯が無いこと、及び橋のたもとにある大型スーパーの出入りが主な要因と考えられます。これまで実施可能な対策として、「右折通り抜けの抑制看板の設置」や「県道交差点の右折信号の時間延長」を行いました。また、これまでに交通量及び渋滞長の調査を実施し、春日部警察と信号のサイクルタイムの変更や交通規制の方法など、改善策を検討しております。	—
	16		市民の記憶に残る市制20周年の祝賀行事	市制施行20周年記念事業	この節目の年を通じて、「春日部に住んで良かった、住み続けたい」と思えるまちを目指し、こどもからお年寄りまで幅広く参加していただけるような企画を様々な分野で検討し、皆様の思い出に残るような事業を展開してまいります。	20,662
	17		職員の「週休3日制」・勤務間インターバル制度の導入	—	ライフスタイルの多様化に沿った新たな働き方、職員の健康及び福祉の確保に向けた取組であると考えており、県や他自治体の動向を注視してまいります。	—
	18		SNSを活用したユースクリニックの開設	こども家庭センター母子保健事業	市公式ホームページのお問い合わせフォームにより、こども家庭センターや家庭児童相談室での面談や電話相談につなげられるよう、市公式ホームページにプレコンセプションケアについて掲載してまいります。	32,891 再掲
				—	特に思春期は、心と体に変化する時期で、戸惑いが生じやすい時期であるため、SNSを活用したユースクリニックの開設については、国、県、他自治体の動向を注視してまいります。	—